

インドDMIC物流可視化ソリューション

NECはDMICDC※1と合併会社「DMICDCロジスティクス データ サービス」を設立し、物流インフラを可視化して、輸送中のコンテナ位置情報をリアルタイムで把握する情報サービス基盤を2016年7月から提供しています。

これは、ムンバイの港で荷揚げ・荷積みされるコンテナにRFIDタグを装着し、港の出入口ゲートや高速料金所、内陸通関基地などに設置したRFIDリーダ・ライタを通じて情報を読み取り、クラウド上で他システムとも連携できるサービスです。

本サービスにより、荷主や運送業者は、コンテナ番号の検索だけで、デリー・ムンバイ間（約1,500km）を輸送中のコンテナの正確な位置情報をリアルタイムに把握できるようになりました。

その結果、輸送リードタイムの短縮や在庫削減、生産計画の精度向上などに繋がり、効率的な輸送が実現できたことで化石燃料の使用量の削減にも貢献しています。

このたび、サービス提供による貢献価値を算出したところ、リードタイム短縮と輸送コスト削減に加え、年間約17万トンのCO₂排出量の削減が期待できることから、エコシンボルスターとして認定しました。



【コンテナに磁石で簡単に取り付けられるRFID】

■ 関連情報へのリンク

- [エコシンボルスター登録情報](#)
- [【プレスリリース】インドのデリー・ムンバイ間産業大動脈開発公社と物流可視化サービス事業を行う合併会社を設立 ～物流インフラの高度化を実現し、インドの経済発展に貢献～](#)
- [【プレスリリース】インドのDMICDCロジスティクス データ サービス社のデジタルトランスフォーメーションの実現を支援 ～分析レポート作成時間の短縮と分析業務効率の改善を実現～](#)

